主管課(担当名)	社会教育課(社会教育担当)	事業区分	■実施計画 ■重点プロジェクト
事務事業名	子育て環境整備事業(児童小公園)	事業番号	12269

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1−3 子育て支援の充実	
心泉体示との民産	施策目標	子育て・少子化対策の推進	

2 事務事業の目的

目的	子ども達が利用する児童小公園の遊具が老朽化していることから、修繕、撤去及び設置など遊具の整備を行い、健全で安心・安全な地域の遊びの場の充実を図る。						
成果	子ども達の児童小公園の利用が促進し、屋外で遊ぶ子ども達の健全育成が図られるとともに、町会などと連携 した地域による子育ても進み、地域コミュニティの活性化が図られる。						
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他						
事務区分	■自治事務 □法定受託事務						

3 事務事業の概要

3	争務	事業の概要	.							
		年 度	概 要							
		28								
事務事		29								
事務事業の概要		30	市内13 る。	市内13ヶ所の児童小公園内に設置している遊具の修繕等の整備を行い、子どもの地域での遊び場を確保する。						
要		31	市内13 る。	3ヶ所の児童小公	園内に設置してい	る遊具の修繕等の	の整備を行い、子	どもの地域での遊	笠び場を確保す	
		32	市内13 る。	8ヶ所の児童小公	園内に設置してい	る遊具の修繕等の	の整備を行い、子	どもの地域での遊	空び場を確保す	
		(単位	෭:千円)	H28	H29	H30	H31	H32 総事業費		
	事業費				2,258	5,322	5,386	12,966		
	国庫支出金									
事業	内	内道支出金								
事業費と内訳	€ 0	地方債								
内内	B)(訳 その他				2,258	5,322	5,386	12,966	
য		一般財源								
		(人工)				0.17	0.17	0.17	0.51	
	職員	費(人員×7,67	9千円)			1,308	1,308	1,308	3924	
	総事	業費				3,566 6,630 6,694 16,6		16,890		
	管理	主体		根室市教育委員	会					
維		方法		直営						
維持管理	維持管	施設維持費				528	700	700	1,928	
理	管理	概算人件費				1,308	1,308	1,308	3,924	
	理 費	合計/年				1,836	2,008	2,008	5,852	

-	指 標 名	計画値 (H29)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
店 動	児童小公園内の遊具の整備数(修繕)	18ヶ所	18ヶ所	_
活 動 指 標	児童小公園内の遊具の整備数(新設)	6ヶ所	6ヶ所	_

事務事業改善策

(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって 期待される効果など 市内各地域に子ども達の安全な遊びの場を提供し、子育て世帯が安心して子育てしやすい環境の整備を図る とともに、子どもと地域住民との触れ合いによる地域コミュニティの活性化が促進される。

6 評価の視点

	ロー「阿マンプルが	
		■かなりのニーズがある ロニーズはある ロニーズはあまりない
ア.	市民ニーズ	少子化や地域コミュニティの衰退が社会問題となっている中、地域児童小公園の整備は、子ども達に安全な遊びの場を提供するとともに、地域による子育てや地域コミュニティの活性化につながることから、市民ニーズは高い。
	市が実施する	■市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり □市以外で実施可能である
イ.	必要性	児童小公園に設置している遊具は市が貸与しているため、市が維持・整備すべきである。
		■緊急性が高い □緊急性はある □緊急性はない
ウ.	事業の緊急性	遊具が老朽化していることから、安全確保のため早急な整備が必要である。
		□適切である ■現状として妥当である □検討の可能性はある
Ι.	手段の適切性	児童小公園自体は各地域で管理しており、市として整備し得るのは遊具のみであることから、現状として妥当 であると考える。
		□公平性は高い □概ね公平である ■改善の余地はある
才.	事業の公平性	児童小公園は市内に13ヶ所あり、遊具の状態や利用状況によっては整備の優先順位を見直すことも考えられる。
		■本事業の有効性が高い □本事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない
カ.	事業の有効性	子ども達が屋外で遊ぶ機会が減少している今日において、児童小公園の遊具の整備は、安心・安全な遊びの場を提供し、子ども達が屋外で健全に遊ぶきっかけづくりになることから、本事業の有効性は高いと考える。

ア.		【速やかに実施】 速やかに事業実施を図るとともに、利用に応じた適正管理を行うとともに、公園施設の安全性や機能保全の確 保に努められたい。						
ተ.	アを踏まえ、担当 部局の方針	■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する						
		計画的に遊具の整備を行うとともに、町会等と連携し、子どもの安全な遊び場の機能維持に努める。						

主管課(担当名)	こども子育て課(こども子育て担当)	事業区分	■実施計画 ■重点プロジェクト
事務事業名	人材確保対策事業(子育て分野)	事業番号	12717

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1–3	子育て支援の充実
	施策目標	地域で子	どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の目的

目的	安定的かつ良質な幼児教育や保育の提供のため、子育て支援の担い手となる人材を確保することにより、子 どもが健やかに成長できる環境や体制整備の充実を図る。						
成果	幼児教育・保育環境の充実						
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) □その他						
事務区分	■自治事務 □法定受託事務						

3 事務事業の概要

	年 度	概要						
	28							
事務事業	29							
業の概要	30	子育て支援員研修開催のほか、幼稚園教諭等修学資金貸付制度を創設						
要	31	幼稚園教諭等修学資金貸付の実施						
	32	同上						

		(単位:千円)	H28	H29	H30	H31	H32	総事業費
	事業	費			4,894	4,894	4,894	14,682
	内	国庫支出金			881	881	881	2,643
事		道支出金						
费		地方債						
事業費と内訳	訳	その他			4,013	4,013	4,013	12,039
訳		一般財源						
	人員(人工)				0.67	0.08	0.08	0.83
	職員費(人員×7,679千円)				5,156	616	616	6,388
	総事業費				10,050	5,510	5,510	21,070
	管理主体							
維	運営方法							
維持管理	維 施設維持費 持							
理	管理費	概算人件費						
	費	合計/年						

-	指標名	計画値 (H29)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
活 動 指 標	修学資金貸付件数	_	2件	2件
指 標				

事務事業改善策

(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって 期待される効果など

幼児教育・保育環境の充実

6 評価の視点

U		
		□かなりのニーズがある ■ニーズはある □ニーズはあまりない
ア.	市民ニーズ	有資格者が不足している状況であることから、待機児童の抑制や安定した幼児教育・保育運営のため、長期 間にわたり勤務することができる人材が求められている。
	市が実施する	■市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり □市以外で実施可能である
イ .	必要性	市内において有資格者が不足している状況にあり、これらの人材を確保するため必要である。
		■緊急性が高い □緊急性はある □緊急性はない
ウ.	事業の緊急性	潜在的な有資格者の掘り起こしには限界があるため、確実な人材確保が求められている。
		□適切である ■現状として妥当である □検討の可能性はある
Ι.	手段の適切性	今後とも安定的な幼児教育及び保育環境等を維持する観点から、有資格者の確保を図る必要がある。
		■公平性は高い □概ね公平である □改善の余地はある
オ.	事業の公平性	公設・民設問わず、良質な幼児教育・保育サービスに繋がり、各幼児教育・保育施設の負担軽減の一助となる。
		■本事業の有効性が高い □本事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない
カ.	事業の有効性	人材確保を推進することで、安定的な幼児教育・保育サービスの提供と安心・安全な保育環境の確立が見込 まれる。

ア.	総合政策部で 付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業推進を図るとともに、制度周知を積極的に行い、幼児教育・保育環境の充実に努められたい。
	マナ味士ニ 担业	■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する
イ.		幼稚園教諭等修学資金貸付制度については、本年度に創設し実施中(チラシによる広報、マスコミ等を活用した情報を発信)、子育て支援員研修についても、本年10月中旬開催予定

主管課(担当名)	地域創生・少子化対策室(少子化対策推進担当)	古金ワム	■実施計画 ■重点プロジェクト
事務事業名	(仮称)ふるさと遊びの広場整備調査事業	事業番号	12742

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1–3	子育て支援の充実
心 東 体 示 この 民 達	施策目標	地域で子	どもを見守り安心して子育てができるまち

2 事務事業の目的

目的	季節や天候に影響さることなく、子どもたちが自由に遊ぶことのできる場所や家族で楽しめる場所、さらには親 同士が交流できる場所の創出として屋内遊戯施設の基本構想を策定する。					
成 果	子育て支援、子育て環境の充実を図る					
実施方法	□直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) ■委託(民間等に委託) □その他					
事務区分	■自治事務 □法定受託事務					

3 事務事業の概要

3	事務事業の概要	1							
	年 度				概要				
	28								
事 務 事	29								
事務事業の概要	30		先進地視察、市民から意見を聞く場の設置(根室市子ども・子育て会議等)、パブリックコメントを実施し、基本 構想策定に反映させる。						
要	31								
	32								
	(単位	::千円)	H28	H29	H30	H31	H32	総事業費	
	事業費				4,049			4,049	
	国库士山仝								

		(単位:十円)	H28	H29	H30	H31	H32	総事業質
	事業	費			4,049			4,049
		国庫支出金						
事	内	道支出金						
事業費と内訳		地方債						
と内	訳	その他			4,049			4,049
訳		一般財源						
	人員(人工)				0.25			0.25
	職員費(人員×7,679千円)				1,924			1,924
	総事業費				5,973			5,973
	管理	主体						
維		方法						
維持管理	維持管	施設維持費						
理	管理	概算人件費						
	理 費	合計/年						

活	指 標 名	計画値 (H29)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
動	屋内遊戯施設の設置	-	-	1施設
活 動 指 標	屋内遊戯設備整備運営基金の積立	3億円	5億円	5億円
7末				

事務事業改善策

(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって 期待される効果など

子育て支援、子育て環境の充実が図られる。

6 評価の視点

0 1	半価の倪息	
7	市民ニーズ	■かなりのニーズがある ロニーズはある ロニーズはあまりない
<i>,</i> .	11.K.— X	子育て世代に限らず、多くの市民から求める声がある。
	士が中歩士で	■市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり □市以外で実施可能である
	市が実施する 必要性	「根室市ふるさと応援みらい会議」からふるさと応援寄附金の活用方策の一つとして「子ども向け屋内遊戯施 設の整備」の提言を受けたものである。
		■緊急性が高い □緊急性はある □緊急性はない
ウ.	事業の緊急性	市民意識調査において最も高い要望となっていることから、迅速な対応が必要である。
		■適切である □現状として妥当である □検討の可能性はある
工.	手段の適切性	安心して遊び、遊ばせることが出来る施設の整備は、子育て支援の充実の手段として適切である。
		■公平性は高い □概ね公平である □改善の余地はある
才.	事業の公平性	多くの市民から求める声があることから、公平であると言える。
		■本事業の有効性が高い □本事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない
力. ·	事業の有効性	子育て支援、子育て環境の充実が図られる。

ア.		【速やかに実施】 速やかに着手し、市民ニーズに即した基本構想策定に努められたい。
		■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する
イ.	MI TO THE PARTY OF	計画どおり事業を開始し、庁内検討部会と連携を図るとともに、市民ニーズに即した基本構想策定に努めたい。

主管課(担当名)	都市整備課(都市公園担当)	事業区分	■実施計画 ■重点プロジェクト
事務事業名	子育て環境整備事業(公園)	事業番号	12743

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1−3 子育て支援の充実	
旭泉仲永との民産	施策目標	子育で・少子化対策の推進	

2 事務事業の目的

目的	妊産婦や乳幼児を連れた子育て世帯が、子どもを安心して生み育てることができるまちの実現を目指し、公園 施設内に安心して訪れることができる環境整備の推進など、妊産婦から子育て世帯にやさしい環境づくりを推 進する。			
成 果	妊産婦や乳幼児を連れた子育て世帯が、公園施設に安心して訪れることができる環境整備の推進し、社会全 体で子育てを支える意識の浸透を図る。			
実施方法	■直営(市が直接実施) □補助(民間等に補助) □委託(民間等に委託) ■その他			
事務区分	■自治事務 □法定受託事務			

3 事務事業の概要

	年 度		概 要							
		28								
事 務 事		29								
事務事業の概要		30	都市	都市公園における遊具等の公園施設の整備(改修)、公園施設の突発的修繕(外注)						
要		31	都市公園における遊具等の公園施設の整備(改修)、公園施設の突発的修繕(外注)							
		32	都市公園における遊具等の公園施設の整備(改修)、公園施設の突発的修繕(外注)							
	(単位:千円)		H28	H29	H30	H31	H32	総事業費		
	事業費				3,315	3,315	3,315	9,945		
	国庫支出金									
事業	内道支出金									
費	***	地方債								
事業費と内訳	訳	その他				3,315	3,315	3,315	9,945	
訳		一般財源								
	人員(人工)				0.17	0.17	0.17	0.51		
	職員費(人員×7,679千円)				1,305	1,305	1,305	3,915		
	総事業費				4,620	4,620	4,620	13,860		
	管理	主体		根室市						
維	運営方法		直営							
維持管理	維持	施設維持費				33,353	34,503	34,503	102,359	
理	維持管理	概算人件費								
	費合計/年				33,353	34,503	34,503	102,359		

20) Jb:	指 標 名	計画値 (H29)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	公園施設の安全確保・機能保全の確保率	100%	100%	100%
	遊具等の公園施設の整備(改修)を実施した公園数	6公園	9公園	14公園

事務事業改善策

(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって 期待される効果など

妊産婦や乳幼児を連れた子育て世帯が、公園施設内に安心して訪れることができる環境整備の推進により、 子育てにやさしい街としてのPR効果が期待される。

6 評価の視点

ア.	市民ニーズ	■かなりのニーズがある □ニーズはある □ニーズはあまりない
		公園施設内の安全性確保・機能保全を図り、妊産婦や乳幼児を連れた子育て世帯が安心して利用できる憩い の場を継続して整備することへの市民ニーズは高い。
イ.	市が実施する 必要性	■市が実施すべきである □市の実施について検討の余地あり □市以外で実施可能である
		遊具などの公園施設の安全性確保や機能保全を行う目的であり、都市公園法第2条の3に基づき、都市公園 の管理は、設置者が責任を負うことになっているため、公園管理者である根室市が行うべきと考える。
		■緊急性が高い □緊急性はある □緊急性はない
ウ.	事業の緊急性	子育て世帯からも求める声があり、子育てを社会全体で支えるという視点から迅速な対応が必要である。
	手段の適切性	■適切である □現状として妥当である □検討の可能性はある
포.		遊具などの公園施設は老朽化が進んでおり、現行施設を整備(改修)することが最適と考える。
	事業の公平性	□公平性は高い ■概ね公平である □改善の余地はある
才.		遊具などの公園施設の安全性確保や機能保全を行う目的として整備するものである。
カ.	事業の有効性	■本事業の有効性が高い □本事業の有効性がある □既存事業と大きな差はない
		子育てを社会全体で支える意識を醸成するため。

	ア.	総合政策部で 付された意見	【速やかに実施】 速やかに事業実施を図るとともに、公園施設の安全性や機能保全の確保に努められたい。		
イ.			■計画どおり着手が適当 □再検討し実施する □着手を延期する		
	イ.	アを踏まえ、担当 部局の方針	速やかに事業実施を図り、公園施設の安全性確保や機能保全の確保に努めるとともに、「妊産婦や乳幼児 を連れた子育て世帯が安心して利用できる憩いの場」の環境整備を推進していく。		